

6. かかりつけ医・かかりつけ薬局をもちましょう

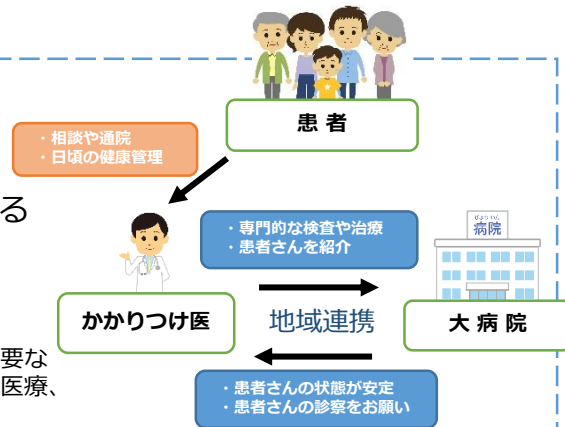
〈かかりつけ医と大病院の役割の違い〉

かかりつけ医は地域に密着し私たちの健康を支えます。

大病院は検査や手術、入院などの設備が整備されていて重症の患者や救急医療、さらには先進医療などを提供する役割を担っています。

※かかりつけ医の定義

健康に関することを何でも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要なときには専門医、専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師



〈かかりつけ医をもつメリットは?〉

- ①食生活や健康管理について気軽に相談でき、ちょっとした体調変化に気づいてもらえる。
- ②病気や症状、治療法などについての的確なアドバイスをしてくれるため、病気の予防や早期発見・早期治療にもつながる。
- ③専門的な治療が必要と判断されるときは、紹介状とともに適切な医療機関を紹介してくれる。

【注意】

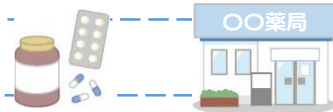
紹介状を持たずにいきなり大病院を受診した場合は、通常料金の他に「特別な料金（選定療養費）」として、初診で7,000円以上、再診時は3,000円以上を患者さんが負担することになります。

〈かかりつけ医選びのポイント〉

- ①自宅・職場から通いやすい
- ②一人に決める必要はありません。何科のお医者さんでも大丈夫
- ③気軽に話すことができ、不安や疑問にわかりやすく答えてくれる。
- ④風邪や予防接種など、軽い症状のときに実際受診してみて自分との相性が良いか判断しましょう。



〈かかりつけ薬局（薬剤師）を持つメリット〉



普段から何でも相談できる顔なじみ薬剤師がいる「かかりつけ薬局」を一つ決めておきましょう。使用する薬を一つの薬局でまとめて管理すると、

- ①複数の医療機関から同じ薬が処方されていることに気づいたり、飲み合わせのほか、薬が効いているか、副作用がないかなど継続的に確認してもらえます。
- ②残薬の原因を把握し、一人ひとりにあった方法（飲みにくい薬を変更してもらったり、飲む回数を減らしたり）を提案されることで飲み忘れや飲み残しを防ぐことができます。